

○ 中学校社会 第1学年 ④

「鎌倉時代の特色（中世前期）」

問題番号	出題の趣旨	学習指導要領との関連	評価の観点		
			関意	思判表	知技理
(1)	鎌倉幕府を支えた封建制度のしくみについて、図表の矢印が表している内容を答える問題である。	内容(3)中世の日本のア、イのうち、「武家政権の成立」、「武士と民衆の生活」「鎌倉時代の文化と宗教」についての活用問題である。			○ ◎
(2)	北条政子が出した追討命令の文章資料から、後鳥羽上皇が起こした「承久の乱」の名称と、北条政子が御家人に想起させた「頼朝へのご恩」について、既習知識をもとに答えさせる問題である。	問題を解く際には、提示された資料から読み取った情報や既習の知識などを活用して、授業で学んだことを転用させていくことが大切である。		○ ○	◎ ◎
(3)	提示された複数の資料から、中世前期（鎌倉時代）において荘園領主と地頭との二重支配が行われたことを読み取り、二重支配のもたらした影響について考え、判断する問題である。	将軍と将軍に仕える御家人の関係について、授業で学んだ内容をカードと資料を手がかりに転用させていきながら、中世前期（鎌倉時代）の特色を理解させることが主なねらいである。	◎	○ ○	○ ○
(4)	中世前期（鎌倉時代）の特色について、資料を手がかりに、「武士が主役の世の中になり、武士が日常的に武芸に励んでいたことや、素朴で力強い文化が主流になったこと」についての理解をみる問題である。				○ ◎

